

# 大使館情報

2019年5月

## 【目次】

### 1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（4月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

### 2. ブラジル政治情勢（4月の出来事）

#### [内政]

- (1) 大統領府による100日間総括
- (2) 経済政策及び経済改革
- (3) 夏時間の中止に関する大統領令
- (4) 閣僚等の交代
- (5) 汚職関連

#### [外交]

- (1) モウラオン副大統領の訪米
- (2) アラウージョ外務大臣の訪亜
- (3) アラウージョ外務大臣の訪米
- (4) ハイコ・マース独外務大臣の訪問

### 3. トピックス

- (1) 第9回日伯戦略的経済パートナーシップ賢人会議の開催
- (2) 山田大使とセルジオ・モーロ法務・治安大臣との意見交換
- (3) カンペストレ慈善病院への医療機器の供与（在リオデジャネイロ総領事館）
- (4) ショッピングモールにおける日本文化紹介（在リオデジャネイロ総領事館）

### 4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

## 1. ブラジル・マクロ経済情勢

### (1) 経済情勢等（4月発表の経済指標）

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、4月26日時点で、GDP成長率予測については、2019年は1.70%で先週1.71%から0.01%減少、2020年は2.50%で先週と変わらず。インフレ率については、2019年は4.01%で先週と変わらず、2020年も4.00%で先週と変わらず。

(イ) 2月の鉱工業生産指数は、前月比+0.7%、前年同月比+2.0%を記録。

(ウ) 2月の小売売上高は、前年同月比±0%、前月比+3.9%と2ヶ月連続の増加を記録。

(エ) 全国の失業率（1～3月の移動平均）は12.7%となり、前回の公表値（12.4%：12～2月の移動平均）より悪化した。

(オ) 3月の貿易収支は、輸出額は181.69億ドル（前年同月比▲10.18%、前月比+12.84%）、輸入額は131.30億ドル（前年同月比▲4.92%、前月比+4.04%）で、差引き50.40億ドル（前年同月比▲21.50%、前月比+44.78%）となり、49か月連続で貿易黒字を記録した。

(カ) 3月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で+0.75%となり、前月の+0.32%から上昇した。12ヶ月の累計では4.58%となり、政府のインフレ目標（4.5%±1.5%）内の水準で推移している。

### (2) 経済政策等

(ア) 4月23日、下院憲法・司法委員会にて、年金制度改革案が承認。修正箇所は4カ所のみで、政府が積算した歳出削減規模は1.1兆リアル（後日1.236兆リアルに修正）を維持。4月25日に下院特別委員会が設置され、今後同委員会で審議が行われる。

(イ) 政府は、5つの連邦税を一元化する等の税制改革案及び2020年予算方針法案（PLD02020）を議会へ提出。

(ウ) 自営トラック運転手組合は、政府がトラック最低運賃の履行に関する監督を強化することと、ディーゼル油価格の調整法方法を変更することを約束した事で、ストライキを実施しないことに決定。4月29日から、新たな方法によってディーゼル油価格が調整されることになる。

### (3) 中銀の金融政策等

金融政策委員会は5月7日及び8日に開催され、政策金利（Selic）を年率6.50%に据え置くことを決定。据え置きは9会合連続。

### (4) 為替市場

(ア) 4月の為替レートは、前半は横ばい、後半にかけて年金制度改革の進捗状況を嫌気して、リアル売り傾向。月末は下院特別委員会の設置を受け、やや買い戻された。

(イ) 月の前半は、下院憲法・司法委員会における年金制度改革の進捗や政治関連報道に上下するも、結果的に一定のレンジで推移。

(ウ) 月の後半は、憲法・司法委員会での票決延期により、リアル売りが進行。24日には1ドル=3.9922リアルを記録。月末は下院特別委員会の迅速な設置により、リアルは買い戻された。

### (5) 株式市場

(ア) 4月のブラジルの株式相場（Ibovespa指数）は、前半は年金制度改革に関する報道の影響

を受け、上下する展開。後半は上昇傾向。当地では、既に新政権のハネムーン期間は終了したと報じられている。

(イ) 月の前半は、年金制度改革に関する楽観的・悲観的な報道を受け、上下し、月央にかけて下落する展開。

(ウ) 月の後半は、下院憲法・司法委員会での年金制度改革案の承認、下院特別委員会の迅速な設置等により、上昇傾向。

## 2. ブラジル政治情勢（4月の出来事）

### 【内政】

#### （1）大統領府による 100 日間総括

4月10日、大統領府は、ボルソナーロ政権発足100日記念式典を開催し、「100日間で達成すべき35の目標」を全て達成した旨公表。

#### （2）経済政策及び経済改革

(ア) 4月5日、政府が税制改革に関する憲法修正案（PEC）を下院に提出。

(イ) 4月15日、政府が2020年予算方針法案（PLD02020）を下院議員に提出。

(ウ) 4月23日、下院憲法司法委員会が年金制度改革に関する憲法修正案（PEC）を可決。

#### （3）夏時間の中止に関する大統領令

4月25日、ボルソナーロ大統領が夏時間の中止（無期限）に関する大統領令に署名。

#### （4）閣僚等の交代

(ア) 4月8日、マリオ・ヴィラルヴァ輸出投資促進庁（APEX）長官が解任。

(イ) 4月9日、ロドリゲス教育大臣が解任され、後任にアブラハン・ヴァインスタウブ文官庁事務次官が就任。

#### （5）汚職関連

##### （ア）テメル前大統領

① 4月2日、テメル前大統領及びモレイラ・フランコ前鉱山・エネルギー相を含む計12名が関与したとされるアングラ第3原発建設事業を巡る汚職容疑に関する2通の起訴状が連邦裁判所第7法廷（リオデジャネイロ）により受理。

② 同日、連邦検察庁（MPF）は、アングラ第3原発建設事業でテメル前大統領が建設業者に便宜を図った見返りとして、息女マリステラ・テメル氏の住居改築費用（約160万リアル相当）が同業者から支払われたとし、同前大統領、マリステラ氏、リマ大佐を含む計4名を資金洗浄の容疑で起訴（4月4日、テメル前大統領息女住居改築を巡る資金洗浄容疑に関する起訴状が連邦裁判所第6法廷（サンパウロ）により受理）。

③ 4月10日、MPFが「Quadrilhão do MDB」事件に関し、組織犯罪及び捜査妨害の罪でテメル前大統領を起訴。

④ 4月29日、ブラジル連邦裁判所がサントス港湾事業に関する不正等の容疑でテメル前大統領及び他4名に対する起訴状を受理。同前大統領は、「Quadrilhão do MDB」事件を除く計5件の汚職事件で被告となった。

#### (イ) ルーラ元大統領

① 4月23日、司法高等裁判所 (STJ) がルーラ元大統領によるグアルジャール市内3階建て高級マンションを巡る収賄容疑に関する第3審 (控訴審) で8年10か月に減刑。

② 4月26日、ルーラ元大統領は、フォーリャ紙及びエル・パイェ紙の独占インタビューに応じ、ラヴァ・ジャット捜査を担当したモロ法務治安大臣 (前・クリチバ連邦地裁判事) を批判。

### 【外交】

#### (1) モウラオン副大統領の訪米

4月5～9日、モウラオン副大統領が米国を訪問。8日、ペンス米副大統領との会談後の記者会見において、米国によるベネズエラへの軍事介入の可能性を否定した。

#### (2) アラウージョ外務大臣の訪亜

4月10日、アラウージョ外相はアルゼンチンを訪問。マクリ大統領及びフォーリエ外相と会談し、ボルソナーロ大統領の訪亜等について意見交換を行った。

#### (3) アラウージョ外務大臣の訪米

4月29～30日、アラウージョ外務大臣がワシントンを訪れ、30日、ポンペオ米國務長官と外相会談を行った。

#### (4) マース独外務大臣の訪問

(ア) 4月30日、アラウージョ外務大臣は、ハイコ・マース独外務大臣と外相会談を行った後、記者会見において、ドイツとのパートナーシップを強調。両国外相は、科学技術、貿易、財政、平和と安全、気候変動、生物多様性、越境犯罪及びサイバーセキュリティの分野における既存の国際的な規則について議論。ベネズエラ情勢につき、両国は、フアン・グアイド氏をベネズエラの暫定大統領として改めて確認するとともに、自由かつ公正な大統領選挙を可能な限り早期に行う責任を有するとした。また、ブラジル側はマドゥロ政権による駐カラカス独大使の追放に遺憾の意を表し、両国はベネズエラの民主主義回復に向けて引き続き取り組んでいくことを約束した。

(イ) 同日、ボルソナーロ大統領は、ブラナルト宮 (大統領府) においてマース独外相の訪問を受けた。

### 3. トピックス

#### (1) 第9回日伯戦略的経済パートナーシップ賢人会議の開催

4月8日、東京において第9回日伯戦略的パートナーシップ賢人会議が開催されたところ、概要以下のとおり。

(ア) 伯側新委員として、レヴィ BNDDES 総裁及びフルラン元開発商工大臣が訪日し、会議に参加。

(イ) 上記新メンバーを含む伯側から、ボルソナーロ政権の見方を紹介。同政権は、財政健全化、

適材適所、透明性等の方針の下、強い決意で構造改革に臨んでいる。

有識者（堀坂上智大学名誉教授）による基調講演を実施。同名誉教授は、安倍政権による中南米外交の強化とボルソナーロ政権の政治・外交姿勢の変化により、このタイミングで二国間関係を強化することで高い相乗効果が期待できる旨指摘。

（ウ）ボルソナーロ大統領の側近であるサントス・クルース大統領府政府調整庁長官より、インフラ整備における日本企業への期待感を表明。

（エ）「日メルコスールEPA」は、伯の産業競争力向上に必要な自由貿易の推進、投資環境の改善、人的交流のさらなる推進等のために重要との意見で一致。

（オ）高度人材を含め、日本は伯人労働者を迎えるための環境整備をすべきとの意見で一致。三村座長（日本商工会議所会頭）は、環境改善に向けた要望を日本政府に提言する意向。

（カ）最後に、次回の賢人会議は2020年4月中旬にリオデジャネイロ市内で開催することを確認し、会議内容を踏まえた成果文書を作成し、委員による確認、両座長による署名を行い、会議を終了した。

その後、4月9日、日伯賢人会議メンバーは安倍総理大臣への表敬訪問を行った。

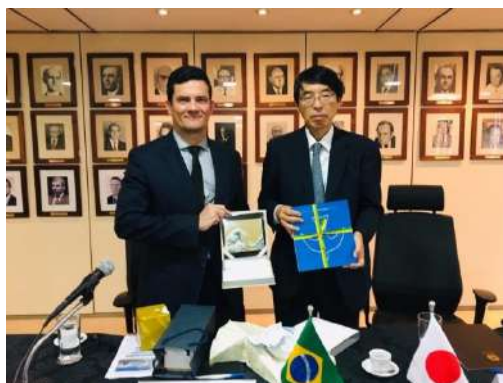
参照 URL：外務省「日伯戦略的経済パートナーシップ賢人会議」  
([https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/brazil/jb\\_kaigi\\_0703.html](https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/brazil/jb_kaigi_0703.html))

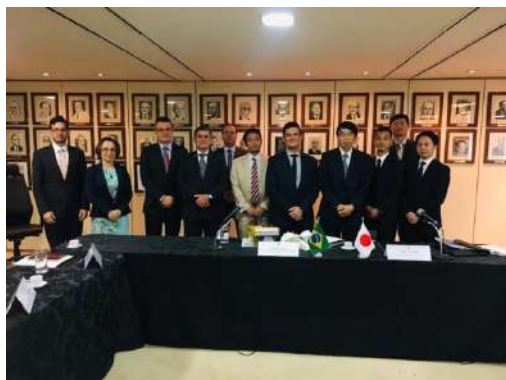
## （2）山田大使とセルジオ・モーロ法務・治安大臣との意見交換

4月10日、山田大使は、セルジオ・モーロ法務・治安大臣を往訪した。

山田大使から、要職への就任に祝意を述べつつ、今後、治安対策や刑事司法の分野で、両国の協力関係を更に強化していきたい旨述べた。

モーロ大臣からは、幼少期に日系人の親友がいたこと（マリンガ市出身）等を紹介しつつ、新政権の方針として、汚職対策や犯罪対策に注力しているので、今後、これらの分野で日本と連携していきたい旨の発言があった。





**(3) カンペストレ慈善病院への医療機器の供与（在リオ総領事館）**

3月22日（金）、ミナスジェライス州南西部カンペストレ市（州都ベロオリゾンテ市の南西410km）に位置するカンペストレ慈善病院（Santa Casa de Misericordia e Caridade de Campestre）に対し、平成30年度「草の根・人間の安全保障無償資金協力」として、レントゲン機器及び電解質分析装置（計150,618.00レアル（約451万円相当））を供与した。

供与式には、ゼヌン・カンペストレ慈善病院院長、ムニス市長、近隣市のポッソス・ジ・カルダス市のキムラ日系協会会長及び同日系協会会員等が参加し、ゼヌン院長は、継続的な当該協力の実施により同地域の医療サービスが改善した実績及び当該協力が現地で高く評価されている事実を紹介するとともに、日本からのこうした支援に対する感謝が述べられた。



供与式の様子



星野総領事による挨拶



供与したレントゲン機器



供与した電解質分析装置



#### (4) ショッピングモールにおける日本文化紹介（在リオ総領事館）

3月30日（土）、リオ市内のショッピングモール（Shopping Rio Sul）において、茶道のデモストレーションや折り紙のワークショップ等の日本文化体験イベントを開催した。

茶道のデモストレーションでは、その場で茶道講師が点てた抹茶を参加者に飲んでもらう他、作法等の説明を行ったところ、茶道に関する理解が深まる貴重な体験であったとの評価を得た。

また、着物や富士山といった日本を象徴する形を折り紙で折るワークショップを行ったところ、全員が作品を持ち帰る等、非常に好評を博した。

イベントの最後には、訪日経験のあるジャーナリスト（シンチア・サイトウ氏）による日本での体験に関する講演を行い、日本の様々な魅力について発信を行った。



茶道のデモストレーション



茶道講師



折り紙完成作品（着物）



シンチア・サイトウ氏による講演

## 4. 大使館からのお知らせ

### (1) 文化イベント

(ア) 国際交流基金巡回展「東京 ビフォー／アフター」（ブラジリア）

日時：5月9日～6月9日

場所：Caixa Cultural Brasilia/Galeria Vitrine - SBS Quadra 4, Lotes 3/4 - Brasília - DF

内容：写真評論家の飯沢耕太郎氏監修による写真展。本展では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、東京の過去と現在、具体的には1930～40年代の東京と2010年以降の東京をそれぞれの時代の写真家の写真により紹介する。二つの時代の東京を様々な角度から提示することにより、多面的な顔を持つ東京の姿を、さまざまな国の観客に広く、深く理解してもらうことを狙いとし、日本文化への理解・関心を喚起する。

<https://www.facebook.com/events/403123357085116/>

**(イ) 日本語ビデオコンテスト (ウェブサイト上)**

日時： 2019年5月10日に各種賞を発表

場所： ウェブサイト上

入選作品：

[https://fjisp.org.br/concurso\\_video\\_fundacaojapao2019\\_finalistas/](https://fjisp.org.br/concurso_video_fundacaojapao2019_finalistas/)

内容： 日本語学習者向け奨励イベントとして、日本語を使ったビデオコンテストを開催中。誰でも参加できるビデオコンテストであり、ビデオの制作テーマは参加者の方が住む町の「郷土自慢」となる。大使賞、審査員賞、いいね賞が5月10日に発表される。現在、上記の入選作品リンク中でビデオへの「いいね」を募集。

**(ウ) 漫画展覧会 (サンパウロ)**

日時： 5月14日(火)～6月29日(土)

火曜日～金曜日 10:30～19:30

土曜日 9:00～17:00

場所： 国際交流基金サンパウロ日本文化センター図書館

Avenida Paulista, 52 - 3º andar, São Paulo - SP

内容： JBC 出版社と共催で漫画に関する歴史及び日本文化としての漫画の特徴などを説明したパネルを展示。また、6月には漫画アキラの「金田のバイク」の原寸大模型も展示予定。

URL： <https://fjisp.org.br/>

**(2) 外務省 海外安全ホームページ**

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

**(3) ブラジル渡航情報**

**(ア) 危険情報**

2019年2月12日付で内容を改訂したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジリア連邦区 (継続)
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市 (継続)
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏 (継続)
- ・アマゾナス州大マナウス圏 (継続)
- ・パラ州大ベレン圏 (継続)
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏 (継続)
- ・バイア州大サルバドール圏 (継続)
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏 (継続)
- ・パラナ州大クリチバ圏 (継続)



- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

[http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo\\_259.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html)

（イ）安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html)

（ウ）テロ・誘拐情勢

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html)